

## 平成 24 年 3 月商工だより特別版

### 山田町との災害時相互応援協定締結式

3月17日(土)、西部コミセンで、岩手県山田町復興支援事業「～絆～北国から復興を願って」が行われました。

昨年3月11日の「東日本大震災」で壊滅的な被害を受けた山田町。本年3月1日現在の死者・行方不明者数は770人、うち153人は未だに行方不明のままです。

「陸中山田十勝ワイン友の会」を通じて交流のある山田町。池田町は震災直後から、支援物資、町民から募った義援金を届けたり、町職員の行政支援などを含め、復興の手助けをしてきました。また、昨年10月23日には、池田町建設業協会から活動費の助成をいただき、商工会青年部が中心となって結成した「牛の丸焼きを届け隊」が現地を訪れ、山田町の皆さんに、牛の丸焼きをはじめ、池田町産品の振る舞い等、被災地に元気を届けました。そうした縁から、今回山田町からの申し入れにより、「災害時相互応援協定締結式」の実現にいたりしました。

当日は、山田町の沼崎喜一町長をはじめ町職員、「陸中山田十勝ワイン友の会」の佐々木克彦会長と役員の方々、総勢9名が来町。池田町からは支援に行った町職員、商工会青年部員を含む町民160名が式典に出席しました。

両町長による「災害協定締結式」の後、沼崎町長の基調講演会が行われ、被災の状況、津波の脅威と、今後の教訓(地震が発生し、津波の襲来が予想される場合には、何をさておいても、とにかく避難をする)などのお話がありました。

続いて行われた町民交流会では、各種演奏活動を通じて義援金の募金活動など「被災地支援」を行ってきた、池田高校吹奏楽部による演奏などもあり、参加者全員が、両町の絆を新たにしていました。

今回感じたことは、被災された皆さんの前向きな姿勢です。とにかく復興に向かってひたむきに突き進むという意気込みです。時間はかかるかもしれないけど、「必ず復興できる」そう信じます。「けばっぺ、山田町!!」「がんばろう、日本!!」

### 岩手県山田町復興支援事業フォトスナップ



災害協定締結式



署名をする両町長



勝井町長の挨拶



沼崎町長の挨拶



歓談する皆さん



池高吹奏楽部からのプレゼント

「丸焼き届け隊」で、昨年10月に山田町を訪問した商工会のメンバーを代表して



吉木青年部長のスピーチ



田岡会長締めのカンパイ